科目名称	臨床看護総論	学年学期	単位数	時間数
		2学年前期	1	30
担当教員	井ノ上眞由美　山下さつき　山崎　誠	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 看護師 ） □ 無	

【1】 **授業概要**

健康の正常から逸脱した、身体的不均衡・心理的不安定状態・社会的葛藤がある患者を理解し、病状・経過および治療に応じた看護の方法を学ぶ。

【2】 **学習目標**

1. 健康障害を持つ患者の看護について知識を統合することができる。
2. 健康障害を持つ患者に起こっていることが理解でき、患者の病態が説明できる。
3. 健康障害を持つ患者の特性について説明することができる。
4. 健康障害を持つ患者の持つ問題解決や課題達成に向けて看護は何をすべきか考えることができる。
5. 健康障害を持つ患者の看護の方向性を考えることができる。
6. 自分の課題に積極的に取り組むことができる。
7. 自分の学習成果をグループ員にわかりやすく説明できる。
8. グループ討議で自分の考えを広めたり深めたりすることができる。
9. グループ内で自己の役割を果たすことができる。
10. 治療処置別看護の知識を活用し、看護技術が実践できる。
11. 実践した治療処置別看護技術について自己評価することができる。

【3】 **第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性**

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
■ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
□ 5. 多職種との連携・協働
□ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 **授業計画**

	内容	主な授業形態	教員
1	臨床看護総論とは健康状態の経過に基づく看護（維持期）	講義	井ノ上眞由美
2	経過に基づく看護 （急性期・慢性期）	講義	
3	治療・処置を受ける対象者への看護①	講義	
4	治療・処置を受ける対象者への看護②	講義	
5	看護技術の演習　医療機器の原理	講義	
6	救急蘇生法	講義・演習	山下さつき
7	主要症状と看護技術①	演習	井ノ上眞由美
8	主要症状と看護技術②	演習	
9	病態理解の看護学的視点①	講義・演習	
10	病態理解の看護学的視点②	演習	
11	病態理解の看護学的視点③	演習	
12	病態理解の看護学的視点④	演習	
13	病態理解の看護学的視点⑤	演習	
14	呼吸を整える技術	講義・演習	山崎　誠
15	筆記試験・まとめ		

【5】 評価方法

科目評価は、筆記試験(70%)、レポート提出、グループワークおよび演習の参加態度等 30%で総合的に評価する。

【6】 教科書

系統看護学講座　専門２　基礎看護学〔３〕　基礎看護技術Ⅱ　第 18 版　医学書院　2023 年
系統看護学講座　専門２　基礎看護学〔４〕　臨床看護総論　第 7 版　医学書院　2023 年

【7】 参考書

佐藤久美他:看護技術が見える(2). 臨床看護技術, メディックメディア
藤野彰子他:看護技術ベーシックス(改訂版),医学芸術社
任　和子編:基礎・臨床看護技術,医学書院
村上美好:写真でわかる基礎看護技術(1),インターメディカ
村上美好:写真でわかる臨床看護技術,インターメディカ
掛橋千賀子他:DVD で学ぶ身体侵襲を伴う看護技術,医学書院
川島みどり:基礎看護技術ガイド,照林社

【8】 受講生へのメッセージ

看護学概論・基礎看護学技術の知識を基に更に発展した看護展開が行えるよう、各期の発達課題も踏まえて必要な看護について説明します。また、看護展開の事例を使用して臨床の場がイメージしやすい様に学習を進めていきます。